

令和7年（2025年）の羊蹄山の火山活動

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○噴火警報・予報の状況、2025年の発表履歴

2025年中変更なし	噴火予報（活火山であることに留意）
------------	-------------------

○2025年の活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図1～3）

9月11日に国土交通省北海道開発局の協力により実施した上空からの観測では、これまでの観測結果と同様に、山頂火口周辺に噴気や地熱域は認められず、地形や植生なども前回の観測（2022年9月）と比べて、特段の変化はありませんでした。

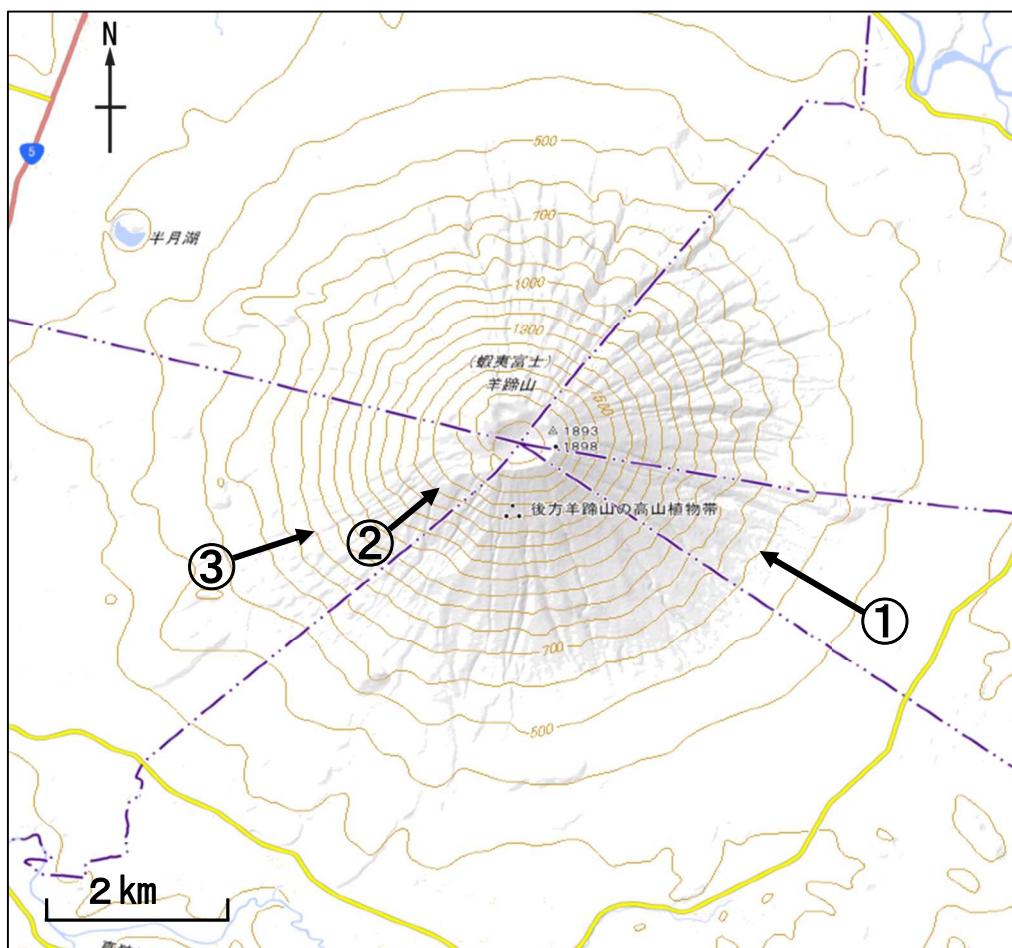


図1 羊蹄山 周辺図と赤外熱映像及び写真の撮影方向（矢印）

この火山活動解説資料は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokujii.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。



図2 羊蹄山 山体全体の状況 南東側上空（図1の①）から撮影

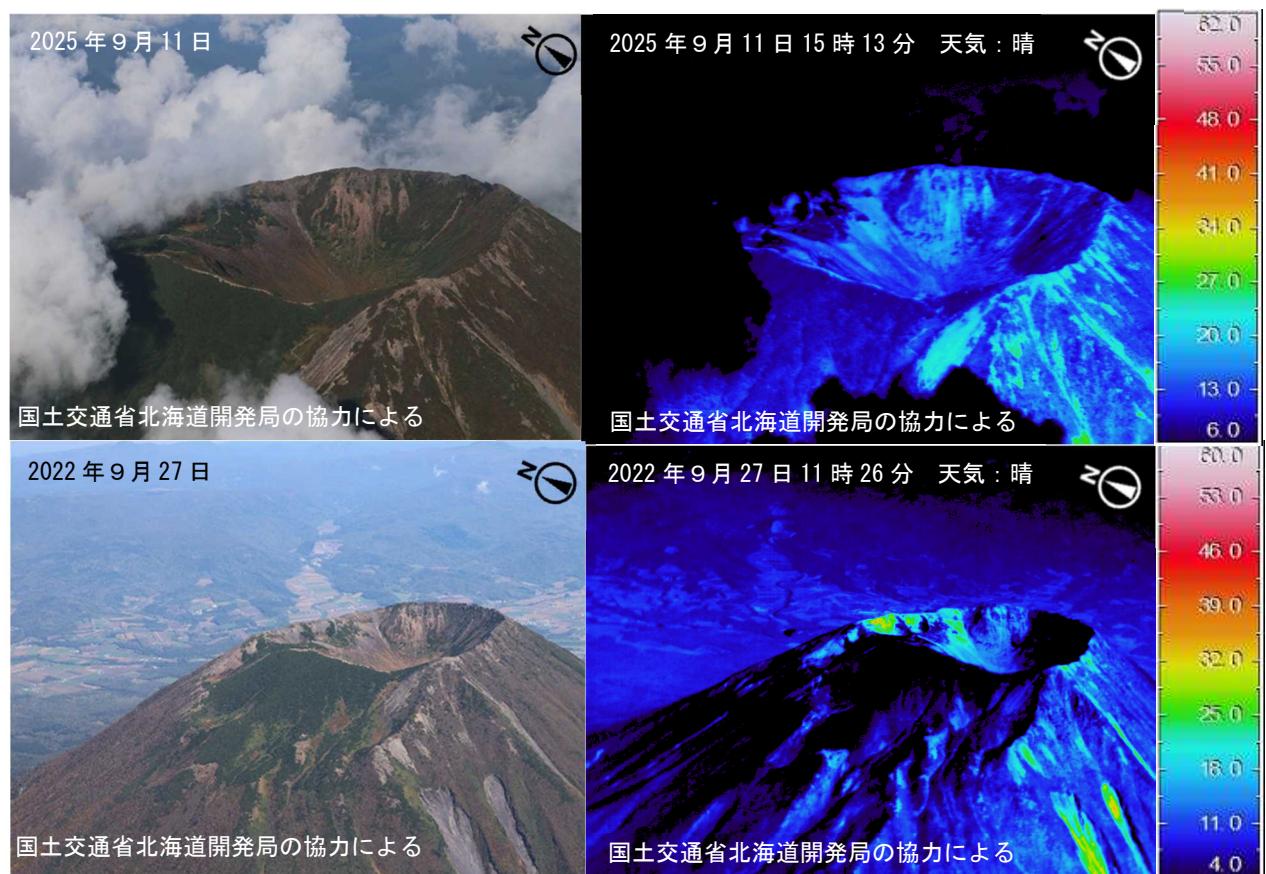


図3 羊蹄山 赤外熱映像装置による山頂火口の地表面温度分布

上段：南西側上空（図1の②）から撮影 下段：南西側上空（図1の③）から撮影

- ・前回の観測（2022年9月）と同様に、山頂火口には噴気や地熱域は認められませんでした（南側を向いた斜面など周囲に比べて温度が高く見える領域は、日射による影響と考えられます）。